



全国消防職員協議会

National Council of Japanese Firefighters and Ambulance Workers

消防職員の活動と地方自治体の責務



全国消防職員協議会

中国ブロック幹事 西尾基貴

消防の組織形態

○ 市町村消防の原則（消防組織法第6条）

消防組織を運営することは**市町村の役割**！

↳ 消防職員は、「**自治体職員** = **地方公務員**」

～消防事務の共同処理～

- ・「単独消防」⇒ 単独の市町村で消防事務を行う
- ・「一部事務組合」「広域消防」⇒ 複数市町村が共同で消防事務を行う
- ・「事務委託」⇒ 消防事務を委託

Ex.) 東京23区は東京都に事務委託している



消防職員と消防団員



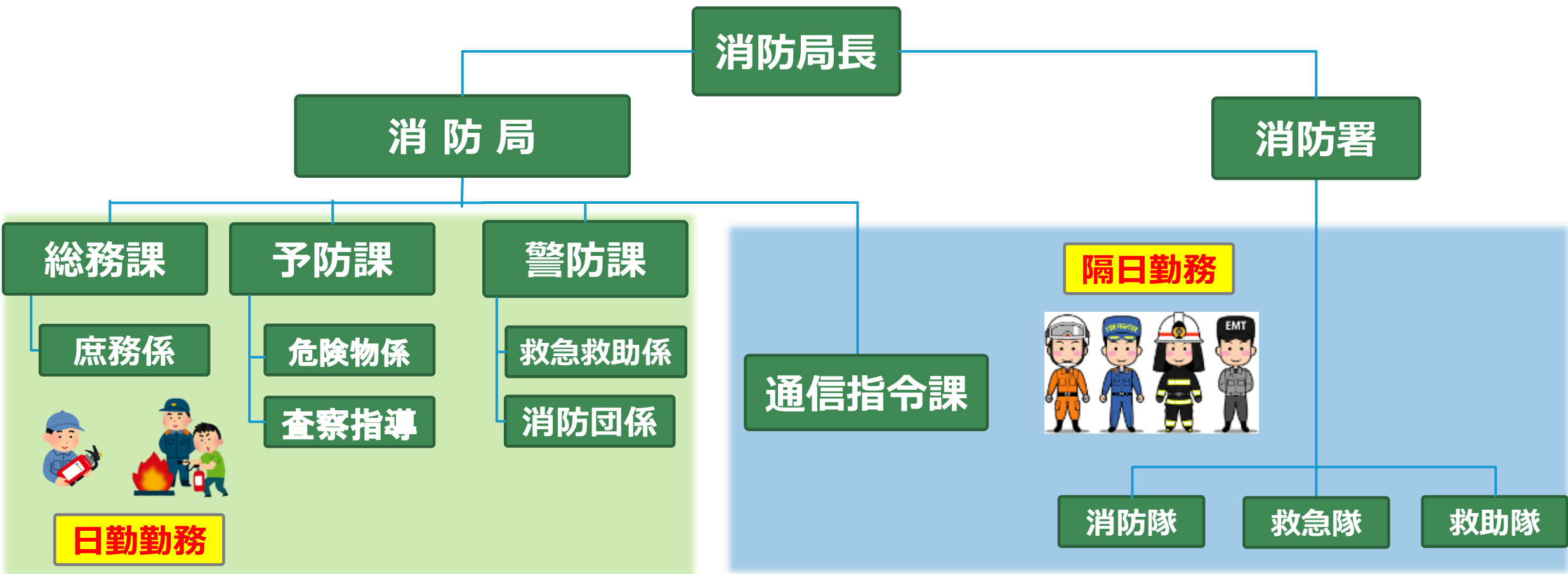
消防職員（常備消防）

常勤の一般職地方公務員
消防吏員とその他の職員
(約16万人)

消防団員

非常勤の特別職地方公務員
普段は**各自の職業**に従事
(約85万人) 職員の5.5倍

消防局の組織



・消防は災害出場だけでなく、設備の検査や防災訓練など予防・啓発も行う



消防組織法第1条【消防の任務】

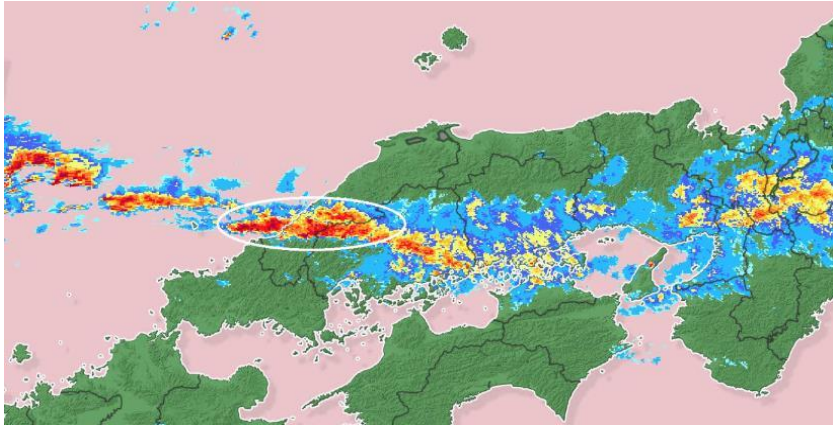
消防は、その施設及び人員を活用して、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務とする。



西日本豪雨災害



西日本豪雨災害



『平成30年7月豪雨』

2018年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国的に広い範囲で発生した、台風7号及び梅雨前線等の影響による集中豪雨。

同年7月9日に気象庁が命名した。別称、「西日本豪雨」

西日本豪雨災害



「まさか、助けに行くための消防車両が・・・」

西日本豪雨災害



「もっと自分に、できることはなかっただろうか・・・」

西日本豪雨災害

被災された方の声
～災害を振り返って～

就寝中、地響きみたいな音、言い表せない音 雨の音で・・・

寝ていると急に土砂が流入し流された。

ほぼ同時に近所の方が避難しようと

避難すること、命ある事、近所の方、消防の方に感謝している。

自分のせいで・・・妻が・・・悔しい。。

緊急消防援助隊



2016年 熊本地震にける緊急援助隊出動

緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、**平成7年（1995年）阪神・淡路大震災**の教訓を踏まえ、**大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合**に、国家的観点から人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施し得るよう、**全国の消防機関相互による援助体制を構築する**ため、平成7年6月に創設。

**2005年
福知山線列車事故**



**2008年
岩手・宮城内陸地震**



**2011年
東日本大震災**



消防現場では・・・

- ・ 危険な場所での活動
 - ↳ **現場の安全は保障されていない**
- ・ いつ、どんな事案（災害）が起こるか予測できない
 - ↳ **突然おとずれる緊張**
- ・ 隊（チーム）での活動
 - ↳ **指揮命令系統の重要性**



労働安全の高い意識と

強靱な精神力が必要とされる

消防現場では・・・（その反面）

- 厳しい訓練に耐えることが求められる
 - ↳ **ハラスメントの正当化**
- 消防職員は全員同じ緊張下で仕事をしている
 - ↳ **自分だけ弱音を吐けない**
- 災害は容赦なく起こる
 - ↳ **PTSDの危険性**



自殺

消防職の特性から、ハラスメントの横行と
PTSD対策への対応の遅れが多発

消防職場の実態

労働三権が全く認められていない消防に採用されると

各都道府県及び政令市が管理する消防学校に入校

6か月の初任科教育にて、団結権は認められていないため、『お前らにそんな権利はない』と教え込まれる

(そもそも、この仕事をえらんだのなら文句を言わずに命令だけ聞いて黙って仕事しろ)

現場にでたら・・・

『**市民のために先輩方が築いてきた消防の伝統を守れ！**』と洗脳される

『**市民のため！**』『**消防の誇り**』など、**魔法の言葉**を連呼され、やる気の搾取が日々行われる

多くの消防職員は『**特殊な仕事だから仕方ない**』と思い、使命感を支えに働く

消防職場の実態

階級社会であるため上意下達（じょういかたつ）の職場風土が根強く、職場に問題や不満があっても『権利主張』をためらい我慢してしまう

疑問を投げかける労働組合が存在しないため、自らの『労働』について考え、改善する機会がない

そもそも何かがおかしいと思っても、何が問題なのかもわからない

さあ、ここから大いに問題が起きてきます！

採用時点ではやる気がたくさんあったのに、どんどんやる気がなくなる

お日様西西でやる気もなく、毎日毎月毎年同じことの繰り返しの仕事をする職員が増加・・・

何年たっても組織も変化することなく、悪いところはそのまま・・・

人員削減で住民サービスが低下することはあっても向上することはまずない・・・

このあたりで係長などの管理職になってきますが、これまでの20年で責任逃れの言い訳を模索するだけの職員が完成します

ハラスメントは当然なくならない、『**自分はやられてきたんだ**』『**お前たちはなぜそんなにぬるいんだ**』

世界から見た日本の消防

労働三権（**団結権**、**団体交渉権**、**団体行動権**）

◇日本政府の考え方◇

- ・日本の消防は、ILO 87号条約第9条の「警察」に含まれる。
- ・消防活動にあたっては、厳正な規律と統制のとれた迅速果敢な部隊活動が常に求められている。

主要先進国で
唯一、**消防職員に
団結権**がない・・・



世界から見た日本の消防

ILO:国際労働機関



日本は誕生した1919年からの加盟国で現在**常任理事国**

- ▶ ILO第87号条約（日本政府は1965年に批准）

『結社の自由及び団結権の保護に関する条約』

↓ でも…

労働三権（**団結権**、**団体交渉権**、**団体行動権**）は

消防職員に認められていない

↓ だから…

日本政府はILOより、**消防職員への団結権付与の勧告**

を**11回**にわたって受けている！

全消協の存在意義・目的

1. 労働者一人ひとりの力は弱いものだけど、団結することにより、声が大きくなる。
(過半数になると当局も無視できなくなってくる)
2. 労働者として労働三権は認められるべきものであり、世界より日本政府は現在非難を受けている。

全消協は、

「日本の消防職員の**労働環境改善を目的**」

に声を上げる団体

ただ、職場環境改善を当局に訴えるには

相応の人数からなる『**組織**』が必要である

全国消防職員協議会

～**団結権回復にむけて**～

1977年8月『**明るく魅力ある消防職場づくりと消防職員の権利と生活のための消防行政を確立する**』
ことを目的に発足。

学習会、研究活動や情報の共有化をはかり、**民主的で働きやすい職場を作るために活動**しています。

また、日本国内はもとより世界各国の消防職員との相互交流を行いながら、それぞれの職場で消防行政や
職場環境の改善などにも取り組んでいます。

【約200単協 約13,000人】

全消協は、団結権が回復することにより、民主的な職場環境の構築をめざし、
住民に対して更なる質の高い消防行政サービスの実現させることを目標に！



全消協の活動



全国消防職員研究集会



合同学習会 (WEB)

学習会や研究集会などを通じて、労働条件や各単協が行っている活動の紹介など、働く上で知っておくべき知識の向上や情報の共有を図っています。



全消協の活動



総務省消防庁に対して要望書を提出

新型コロナウイルス感染症対策や消防行政の充実と労働安全衛生体制の構築、働きやすい職場環境の整備等について要請し、意見交換をおこないました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応や搬送・受け入れ体制の課題、昨今頻発するパワー・ハラスメントへの対応等についてさらに意見交換・要望をおこないました。



全消協の活動

義援活動
について

全消協中国ブロックは、西日本豪雨（気象庁命名：平成30年7月豪雨）で被災された方々のために、今私たちにできることは何かと協議を重ね、扇子を作成・販売することになりました。

扇子の販売による利益の全額は、被災者支援の寄付とし、自治労広島県本部が設ける「災害義援金窓口」に送金します。皆さまの温かいご支援・ご協力の程、よろしくお願いたします。

被災された方々が、一日でも早く元の生活に戻れるように、そして一日でも早く笑顔になれることを願っております。

期間 2018年8月25日～12月31日

販売価格 1,000円／1個

申 込 先：広島県消防職員協議会
事 務 局 長：西尾 基貴（尾道消防職員協議会）
携 帯 電 話：090-1018-8494
E - M A I L：ta.moto-111@outlook.jp

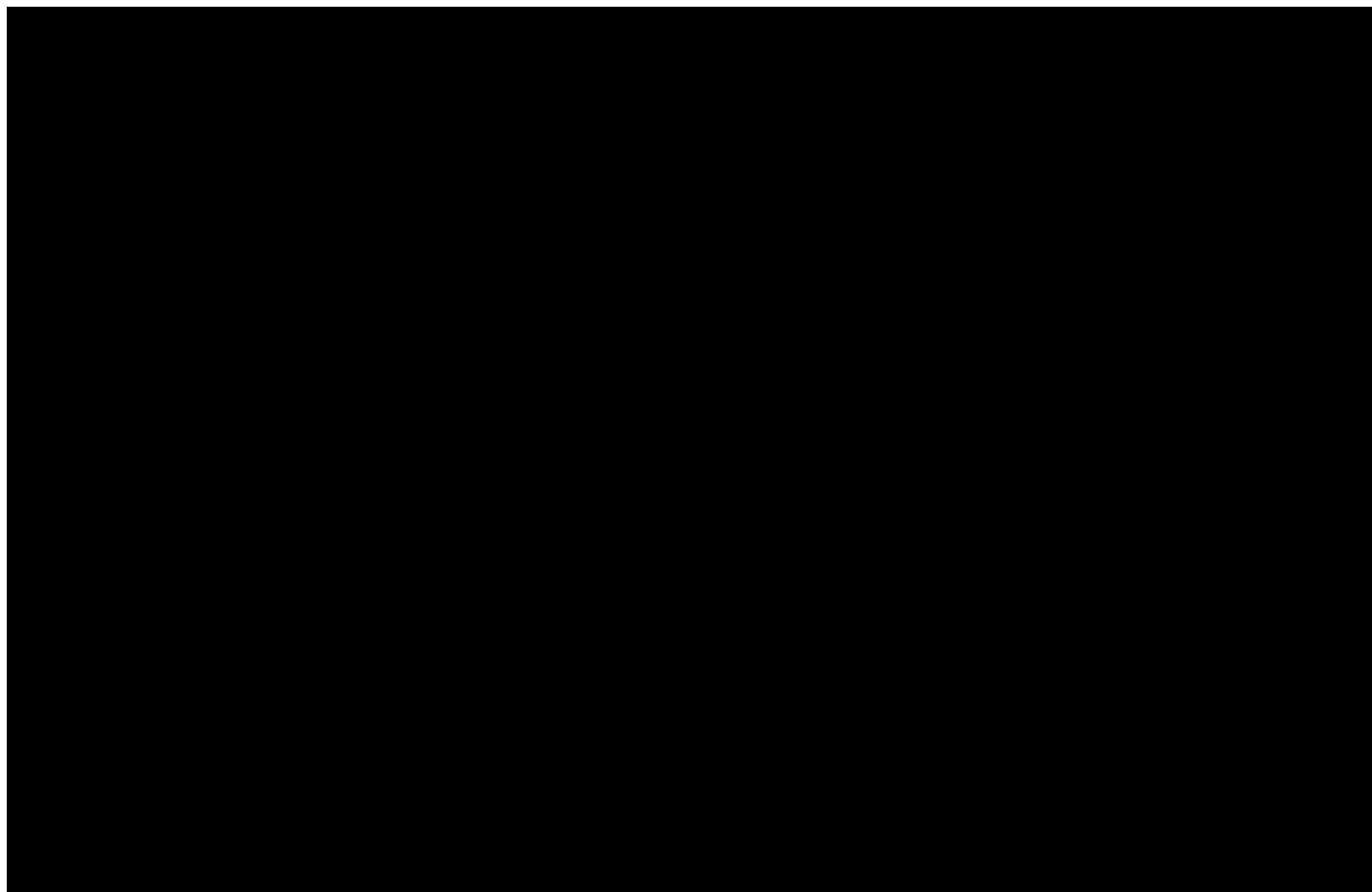
西日本豪雨災害で被災された方々のために、義援金活動を行いました。

協議会活動を通じて、全国の消防職員に西日本豪雨災害の義援金の協力を投げかけ、**約3,000,000円**もの義援金が集まりました。

義援金活動（西日本豪雨災害）



最後に・・・



笑顔が絶えない職場をめざして

1人の意見は『愚痴・文句』

としてとらえられてしまう・・・

しかし、過半数以上の声は『愚痴・文句』

ではなく『意見』となる！

私たちの活動のすべては

『住民サービス向上のため』

そして・・・

『未来の消防士のために』

